

Course number	U-LAS70 10001 SJ50				
Course title (and course title in English)	ILASセミナー：西洋美術の歴史 ILAS Seminar :History of Western Art		Instructor's name, job title, and department of affiliation	Graduate School of Human and Environmental Studies Associate Professor,TAGUCHI KAORI	
Group	Seminars in Liberal Arts and Sciences		Number of credits	2	Number of weekly time blocks 1
Class style	seminar (Face-to-face course)	Year/semesters	2024・First semester		Quota (Freshman) 18 (12)
Target year	Mainly 1st year students	Eligible students	For all majors		Days and periods Wed.5
Classroom	11, Yoshida-South Campus Academic Center Bldg. East Wing			Language of instruction	Japanese
Keyword	作品鑑賞 / 展覧会 / コレクションの形成 / ディスクリプション / 美術館の機能				
(Students of Faculty of Integrated Human Studies cannot take this course as liberal arts and general education course. Please register the course with your department.)					
[Overview and purpose of the course]					
<p>本授業は開講時に開催されている西洋美術の展覧会を一つ取り上げ、展覧会を複数のキーワードから多角的に読み解くことを試みるものである。2024年は、京都の京セラ美術館で開催される「パリポンピドゥーセンター キュビズム展：美の革命 ピカソ、ブラックからドローネー、シャガールへ」（会期：2024年3月20日（水・祝）～7月7日（日））を本授業の扱う対象とする。</p> <p>授業の上半期では、本展覧会を（1）美術館の起源（2）美術館の機能（3）収蔵と展示（4）キュビズムの起源（5）ジョルジュ・ブラックとパブロ・ピカソ（6）ロベール・ドローネーとキュビズムの展開（7）キュビズムとピュリスム の7つの視点から解体・解読する。なお、期間中には実際に展覧会場に出向き作品を鑑賞する機会を設ける予定である。</p> <p>下半期では、受講者が展示作品から各自一点ないし複数点を調査対象に選び、制作者、技法、制作年、展示歴、修復記録など作品に関連する情報を精査した上で、主題にかんする解釈を行い、発表の形式にまとめる。</p> <p>授業内では、発表内容にかんする積極的な意見交換やコメントを歓迎する。</p>					
[Course objectives]					
<ul style="list-style-type: none"> ・現在の美術館を取り巻く諸事情・経緯などに関する基礎的知識について理解する。 ・美術に関する専門事項を学ぶ上での基礎となる能力を習得する。 ・十分な検証のもと、考察や調査の結果を課題と関連づけてプレゼンテーションできる能力を身につける。 					
[Course schedule and contents]					
第1回：イントロダクション 第2回：美術館の起源 第3回：美術館の機能 第4回：収蔵と展示 第5回：キュビズムの起源 第6回：ジョルジュ・ブラックとパブロ・ピカソの主題と技法					
Continue to ILASセミナー：西洋美術の歴史(2)					

ILASセミナー：西洋美術の歴史(2)

第7回：ロベール・ドロローネーとキュビズムの展開

第8回：キュビズムとピュリスム

第9回：展覧会での作品鑑賞

第10回：学生による発表(1)(2)

第11回：学生による発表(3)(4)

第12回：学生による発表(5)(6)

第13回：学生による発表(7)(8)

第14回：学生による発表(9)(10)

第15回：学生による発表(11)(12)&フィードバック

[Course requirements]

後期に開講される「創造ルネッサンス論基礎ゼミナール」の受講を推奨する。

[Evaluation methods and policy]

成績は平常点50%(授業への出席、討議や質問への参加状況、コメントシートの提出)、発表50%で評価する。

発表においては各自がテーマをきめて発表をおこなう。

[Textbooks]

Instructed during class

[References, etc.]

(References, etc.)

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

- ・口頭発表のための予習準備と発表スライド・レジュメの作成
- ・講義内容を参考にしつつ、興味関心のある芸術作品あるいは美術作品についての学びを深める

[Other information (office hours, etc.)]

オフィス・アワーについて:講義時間の前後に対応します。

個別の連絡手段(メールアドレスなど)は初回の授業の際に伝えますので、必ず出席をお願いします。

展覧会での作品鑑賞について:入場料や交通費等は自己負担となります。学生教育研究災害傷害保険等の傷害保険に事前の加入をお願いいたします。